

人間総合研究センター主催 **人間科学研究交流会**  
**-Current Topics in Human Sciences-**  
**第 61 回**

日 時:2022年5月18日(水)17:00~17:45 (約45分)

開催方法:Zoomによるオンライン開催

申込方法:以下の申請フォームからお申し込みください。

<https://my.waseda.jp/application/noauth/application-detail-noauth?param=pqkI9deFZlspmqqJ6MaqVw>

※申込期限は開催当日午前10時まで。(問合せ先 [tokojimu-soumu@list.waseda.jp](mailto:tokojimu-soumu@list.waseda.jp))

※当日のURLは、お申し込み時の返信メールに記載してお送りします。

話題提供者:

**人間科学学術院 講師 川崎弥生**

演 題:

**Cross-modal correspondence between visual information and taste perception of bitter foods and drinks(苦い食べ物と飲み物における視覚と味覚のクロスモーダルな対応関係)**

**【演題要旨】**

これまでの研究から口腔内の味覚受容体は甘味よりも苦味に対してより敏感であることが報告されている。また、視覚、嗅覚といった他の感覚も味覚に関与するクロスモーダル対応と呼ばれる現象が起きている。食品の色や包装が味覚の期待値や知覚に影響を与えることが示されているが、視覚情報と味覚のクロスモーダル対応は、苦味の程度に依存するかどうかは明らかとなっていない。そこで、本研究では苦味の程度を変化させたチョコレートと緑茶を用いて、色が味覚に与える影響について検討した。その結果、チョコレートや緑茶が苦い場合、視覚情報が味覚評価に影響を与えることがわかった。一方、苦味の少ない緑茶では、味覚に対する視覚的影響は見られなかった。したがって、苦味の程度によって視覚情報と味覚のクロスモーダルな対応関係が変化する可能性が示唆された。



主催：早稲田大学人間科学学術院 人間総合研究センター